

(別記第3号様式)

根室市市民意見公募手続（パブリックコメント）実施結果公表

令和6年6月28日

市民の皆さんからいただいたご意見、これに対する市の考え方などを取りまとめましたので、公表します。

施策等の名称	根室市総合体育会館基本構想（成案版）		
実施期間	令和6年4月22日～令和6年5月21日		
意見の件数	3件（1人）		
意見の取扱い	修正	案を修正するもの	件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	件
	参考	今後の参考とするもの	件
	その他	意見として伺ったもの	3件
意見の受け取り	郵送		人
	ファクシミリ		人
	電子メール		人
	直接持参		1人

件数	意見の内容	意見に対する市の考え方 (修正した場合は、その内容と理由)
1	<p>第4章 新総合体育会館の建設に関する諸条件の整理について</p> <p>4-1 建設候補地の比較検討と建設地の選定について</p> <p>4-1-1 建設候補地の比較検討</p> <p>4-1-3 総合評価</p> <p>各候補地の具体的な敷地面積、予定施設面積、確保できる駐車場予定面積（台数）、建設費用の概算等々が明示されていない中で個別評価することは非常に難しいです。</p> <p>また、評価項目に対する「○、△、×」の具体的な評価基準も不明確です。</p>	<p>【その他】</p> <p>予定施設面積、確保できる駐車場予定面積（台数）、建設費用の概算額につきましては、様々な算定の基礎となる施設規模及び施設構成を確定させる必要があることから、これらの詳細を定める基本計画及び基本設計を本年度実施することとなっております。</p> <p>なお、建設候補地の具体的な敷地面積については、敷地造成を要する建設候補地もあり、一律に比較することが困難であることから、基本構想では、アクセス面での判断など場所的な比較に止めております。</p> <p>また、建設候補地の比較検討、個別評価及び総合評価につきましては、立地・駐車場・敷地環境・経済性・防災性の五つの評価項目（基本構想 P27 表 4-1 評価項目）を定め、比較検討を行ったところであり、高校生を含む市民委員会グループワークでの検討の際の解り易さなどを考慮の上、簡易的な優劣判定として、「○・△・×」方式を採用したものとなっております。</p>

<p>2</p>	<p>候補地の中に現柏陵中学校（旧西高）及びその隣接地が含まれていないのが理解できません。</p> <p>現柏陵中学校（旧西高）の敷地と教員住宅敷地（平屋・2階建て）等を含めると、かなり広い敷地面積になると思います。</p> <p>教員住宅（平屋）から野球場、体育館、校舎、2階建て教員住宅までを新施設の候補地として考えると、柏陵中学校跡地よりも敷地面積を確保できると思います。</p> <p>河畔グラウンドから教員住宅（平屋）までの斜面を整備することで、総合運動公園との一体化を図ることができると思います。</p>	<p>【その他】</p> <p>建設候補地につきましては、前身組織である市民委員会での意見を含め、令和2年3月に策定された根室市総合体育館整備基本方針の中で、更地や公園施設内であることなどを前提とした「五つの建設候補地」が既に絞り込まれており、今回策定の基本構想では、新たに設置した市民委員会での議論を含め、これらの中の一つを建設地として選定したものとなっています。</p>
<p>3</p>	<p>「建設地＝柏陵中学校跡地」には反対です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 総合評価「駐車場」項目が○になっていますが、体育館、プール、武道場、相撲場の4施設を建設すると、十分な駐車場を確保することは難しいと思います。 大きな大会を開催することを考えると、大型車両の駐車スペース及び転回スペースが必要だと考えます。 ■ 十分な駐車場（スペース）を確保できないということは、災害時における対応能力が著しく低下することが考えられます。（大型特殊車両や緊急時テント等の設置などが困難？） ■ 現在の総合運動公園とのアクセス面が良くないと思います。（住宅地が隣接しているので、大会等があると違法駐車や交通事故等の安全面での不安があると思われます。） <p>現柏陵中学校（旧西高）を候補地にするものの利点について</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 広大な敷地面積を確保できる。（4施設＋野球場も造成できるのでは。工夫次第で…。） ■ 現校舎を有効利用できる。（管理棟、トレーニングルーム、ミーティングルーム、e-スポーツ室、会議室、各種スポーツ団体の事務局等々に利用可能。） ■ 現教員住宅（平屋）から総合運動公園・河畔グラウンドへ通じる斜面を整備することで、運動施設への相互アクセスを確保。 ■ 十分な駐車場や野球場（仮定）を造成することで、災害時の対応能力を高めることができる。（緊急車両スペースやヘリポートの利用も視野に入れることができる。） <p>以上のことから、建設候補地については、今一度見直しすることを要望します。</p>	<p>【その他】</p> <p>建設地につきましては、災害時に有効な近年中の電柱埋設化を含め、主要幹線道路であり北海道の指定避難道路でもある国道44号と直結することや、迅速な避難を担保する上で市街地中間部に位置しているなど、優れたアクセス性を有するとともに、敷地全体が浸水の恐れがない高台にあることなど、平常時はスポーツの殿堂として、非常時は市内最大の避難所として、二つの機能性を高く発揮することができるなどの理由から、「柏陵中学校跡地」を選定しております。</p> <p>また、新総合体育会館は、現在の4つの屋内体育施設（青少年センター・武徳殿・温水プール・相撲場）を、それぞれ戸建てではなく、一つ屋根の下とする強固な合築型として複合集約化（基本構想P26整備方針/施設構成）することを基本としており、更に、その施設面積も約10,000㎡前後（基本構想P46表4-7総床面積）を想定していることから、約40,000㎡の敷地面積を有する柏陵中学校跡地においては、大型車両を含めた駐車場・通路は勿論のこと、災害時の支援活動やイベント開催などを含め、残る約30,000㎡で十分なスペースが確保できるものと考えております。</p>